

1 身のまわりから海を汚さないようにしましょう！

●油や食べ残しを流さないようにしましょう

家庭でのちょっとした工夫で、水の栄養負荷量を減らすことができます。例えば、お米のとぎ汁には栄養が多く含まれ、赤潮の原因になります。お米のとぎ汁は流さずに植物の水やりを使うなどしましょう。

●石けん・洗剤類の使用はひかえめにしましょう

お皿についた食べ物の残りは、ゴムべら、新聞紙、不要な紙や布でふき取りましょう。こうすると洗剤の使用量を減らすことができます。

2 伊勢湾の魚介藻類を食べよう！

●伊勢湾でとれたサカナ(魚介藻類)を食べることが伊勢湾の環境を守ることに繋がる

人と海はつながっています。食べることは海の栄養を陸に上げるといって循環バランスが保たれています。

また、地元のサカナを食べることで私たちも伊勢湾を意識して暮らすことにつながっていきます。

4 化学物質には注意しよう！

●水を汚さないために

水の汚染とは水の中にさまざまな物質が溶け込むことで始まります。農薬や除草剤や合成洗剤などに含まれる化学物質は自然の力では分解するのに長い時間がかかります。なるべく使う量を減らそう！

豊かな伊勢湾をとりもどすために
私たちにできること

3 伊勢湾をもっと知ろう！

●伊勢湾の海辺にはどんな生き物がいるのか探しに行ってみよう！

今では伊勢湾で暮らす生き物の種類が減ってきているといわれています。サカナ(魚介藻類)にとって暮らしやすい海的环境とは？まずは海の自然を知ることから考えてみましょう。

5 ゴミを減らそう！

●ミズウオのお腹からゴミが！

100m~1000mまでの深海底で暮らすミズウオのお腹からゴミの袋が採取されました。



お腹の中からゴミが採取されたミズウオ

人間が捨てたゴミが海岸や水面ばかりでなく、深海底にまで広くたまっていることがわかります。花火、釣り、海水浴で遊んだときには、海にゴミを捨てないで持ち帰りましょう！

「伊勢湾」を生き物がたくさんいる豊かな海に

今回、お話を聞いた漁師さんや海産物の加工業者さん…「伊勢湾」にかかわるシゴトをしている人たちは「20~30年前と比べて伊勢湾の漁獲量も魚種も減った」と言います。「シャコエビやガザミなんて昔は軽四トラックいっぱい獲れたもんさ」という話も聞きました。

私たちが海を見て、何も変化がないように見えても、海の生き物たちにとっては深刻な問題が起こっているのです。「私たちと伊勢湾はつながっている」ということから分かるように、「伊勢湾」を守るために、上に書いた「私たちにできること」の中から、一つでもいいのでやってみてはどうでしょう。

私たちと伊勢湾がこれからも、より良いつながりで結ばれていくことで10年後、20年後、伊勢湾が今よりもいろんな生き物でいっぱいの海になってほしいと思います。

海について知ろう！学ぼう！遊ぼう！海の博物館

〒517-0025 三重県鳥羽市浦村町大吉1731-68
TEL(0599)32-6006 FAX(0599)32-5581 <http://www.umihaku.com/>

海の博物館 イベント情報

7月 18日(土)	トコロテンアレンジ料理
19日(日)~	夏休み体験講座 (貝殻ストラップ・海のマグネット貝紫染めなど…)
20日(月)	漂着物観察と標本作り
30日(木)	アワビの種苗センター見学会
8月 6日(木)・7日(金)	うみはくキャンプ
8日(土)	磯と干潟の生きもの観察会
23日(日)	漂着物観察と標本作り
30日(日)	漂着物の採取とアート作品作り
9月 26日(土)	小魚を下ろして食べよう

※夏休み体験講座以外は要予約。また、日程は変更になる場合があります。

▼磯観察



海の博物館へのご案内



お話を聞いた人：楠町漁業協同組合 代表理事組合長 川村 誠さん、海の博物館 学芸員 平賀 大蔵さん
三重県農水商工部 水産資源室 奥村 宏征さん、竹内 泰介さん